

## 2006年5月、田園都市線に6ドア・座席格納車両を追加導入します

2005年の試験導入の結果、列車遅延防止と混雑感の軽減に効果がありました

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、2006年5月、田園都市線に6ドア・座席格納車両2両を組み込んだ列車計4編成を追加導入します。

当社では2005年2月と5月、田園都市線の朝ラッシュ時のスムーズな乗降による列車遅延防止とスペース拡張による混雑感の軽減を目的として、渋谷駅到着時に最も混雑する5号車および8号車に、1車両の片側に6つ（通常は4つ）のドアがあり、混雑時には座席を格納できる車両を組み込んだ列車計2編成を試験的に導入しました。

試験導入の結果、渋谷駅での停車時間が従来の4ドア車両のみの編成と比べて平均約3秒短縮（田園都市線の最混雑時間帯の平均運転間隔は2分5秒）したほか、お客さまから「乗り降りしやすい」「ほかの車両よりも空いている気がする」「もっと導入してほしい」などのご意見をいただくなど、一定の効果があったため、追加導入を決めたものです。

今回の追加導入によって、田園都市線の最混雑時間帯の、長津田発7時25～46分の急行列車6本（渋谷着8時3～24分）は全て6ドア・座席格納車両を組み込んだ編成となります。

6ドア・座席格納車両の追加導入の概要は以下の通りです。

### 6ドア・座席格納車両の追加導入の概要

|         |  |
|---------|--|
| 導入予定日   | 2006年5月8日(月) 2編成<br>2006年5月24日(水) 1編成<br>2006年5月31日(水) 1編成<br>2005年2月に1編成、同年5月に1編成をそれぞれ導入済み  |
| 導入路線    | 田園都市線<br>相互直通運転を行っている東京メトロ半蔵門線、東武伊勢崎線・日光線でも使用  |
| 導入車両数   | 8両(田園都市線1編成10両のうち2両、計4編成に導入、いずれも5000系車両)<br>2005年導入分と合わせると、6ドア・座席格納車両は合計12両(6編成)になります。   |
| 車両位置    | 5号車と8号車(渋谷側から数えて5番目と8番目の車両)  |
|         |  <p style="text-align: center;">渋谷 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 中央林間</p> |
| 座席格納区間  | 田園都市線長津田 渋谷 東京メトロ半蔵門線半蔵門間  |
| 座席格納時間帯 | 長津田発時刻：7時25～46分、半蔵門着時刻：8時12～34分<br>半蔵門駅到着以降は、座席は使用可能となります。   |

以上

(参考)本日、この資料は国土交通記者会、横浜経済記者クラブ、川崎第一記者クラブにお届けしています。

お問い合わせ先

東京急行電鉄株式会社 社長室 秘書・広報部 大瀧・前田・小清水 電話：03-3477-6086

(別紙)



6ドア車両の車体側面



座席格納時の車内